

産業技術大学院大学の P B L 教育をアジアに展開

～斬新かつ独自の教育手法が海外で評価、グローバル高度専門職人材の育成へ～

産業技術大学院大学（学長 石島辰太郎）は、平成 21 年 9 月 10 日、ベトナム国家大学と大学間協定を締結し、産業技術大学院大学で実施している P B L 教育（Project Based Learning）のノウハウを、ベトナム国家大学に提供していく。

両大学は、グローバルビジネスに資する最新の I T 知識を持った高度専門職人材を育成していく。併せて、産業技術大学院大学では、今後、アジア版 P B L 教育の確立に向けた開発研究を実施する。

【背景】

- わが国の I T 業界は、急速にグローバル化が進展しており、アジアとの密接な業務が展開されている。多くの日本企業が、中国、インド、ベトナム等に多くソフトウェア開発を発注しており、アジア諸国の技術者と共同プロジェクトを遂行するスキルが、I T 企業にとって重要課題の一つとなっている。
- 産業技術大学院大学では、こうした課題を解決するため、当大学の P B L 教育システム手法を用いて、グローバル P B L 教育の研究を進めてきた。
- 当大学のこうした教育研究内容を評価したベトナム国家大学が、産業技術大学院大学の P B L 教育をカリキュラムとして取り入れることとなったことに伴い、このたび両大学が協定を締結したものである。

【具体的な取組と今後の方向】

- 産業技術大学院大学で実施している P B L 教育の内容及び学生評価に関する手法をベトナム国家大学に提供
- グローバルビジネスに資する最新の I T 知識を持った高度専門職人材を育成
- 両大学間での P B L 教育を通じて、産業技術大学院大学では、グローバルな人材育成プログラムの構築に向け、「アジア版 P B L 教育」のモデル化を研究
- 今後は、中国をはじめとしたアジア諸国の大学とも協力関係を構築していくことにより、産業技術大学院大学の P B L 教育を充実させるとともにアジア諸国に発信

【別紙】

◆ PBLとは

- Project Based Learning の略。問題解決型学習による教育手法であり、複数の学生が協力し、明確な目標を掲げて1つのプロジェクトを完成させていくことで、IT業界及びものづくり業界で真に役立つスキルやノウハウを身に付けることができる。本学では5名程度のグループに分かれ、3名の指導教員がついて実施している。また、机上の空論ではなく、地に足のついたテーマ選びが特徴である。
- 本学では、PBLの実施に当たって、専門職大学院に相応しい、より最新かつ実践的な教育内容とするため、産業界等の識者を招いて、PBL検討部会を設置している。
- PBLは我が国において、教育実践例が未だ十分積み上がっていない教育手法であり、本学がPBL開発の先駆者としての役割を担うことが期待されている。

◆ ベトナム国家大学（JET-VNUHN）の概要

- ベトナムの国家大学は、首相直轄の教育機関として位置付けられる総合大学で、教育訓練（Ministry of Education and Training）の管轄下にある他の国立大学に比べ、高度なレベルの教育研究の提供を目指す主導的大学である。
- ベトナム国家大学は、1950年代に設立されたハノイ大学、第1ハノイ師範大学、ハノイ外国語師範大学の3大学が1993年に統合された大学で、ベトナムの最高学府であり、他の省庁と同様、他の国の機関と独自に交流する権限を与えられている。1999年には、情報工学部、電気通信工学部、自然科学大学を一つの学部（工学部）として再編し、さらに2005年工学部を工業大学（College of Technology）へと分離した（College of Technologyについては、現在、University of Engineering and Technologyと名称変更している。）。以前より国内外の大学や団体との交流が盛んで、日本へも多くの留学生を派遣している。

◆ 写真



ベトナム国家大学にて